

37同会関東支部暑気払会(その1)

○ はじめに

猛暑の8月2日(土)、丸の内及び神田小川町において、この暑気を老人パワーで吹き払うべく、37同会関東支部暑気払会を行いました。その様子を2回に分けてお送りします。

当支部においては、3月23日に浅原君、5月13日に古田君を亡くし、たいへん驚き、また、悲しんだ次第ですが、今回は彼らの生前の姿を偲び、現在の我々の生存に感謝する会となりました。

○ 一次会(桂園 帝劇ビル店)

一次会は13:00から15:10の間、18名で行いました。真岡から高木さん・中村さん(6組)、名古屋から来島さん(7組)、近くからは三塩さん(1組)と久田副支部長(3組)の女性5名に参加していただき、たいへん華やかな雰囲気となりました。

男性は、岡田君・乗口君(1組)、小西幹事・吉川顧問(2組)、長岡支部長・増田(満)幹事(3組)、田鍋幹事(4組)、井上(滋)君(6組:群馬県から)、新谷君・武田君(8組)、池田君・倉田幹事(9組)、そして村川(7組)でした。

一次会は、長岡支部長の挨拶、吉川顧問の乾杯で開始されました。広島在住の大久保さんが、昭和43年に早鞆高校が下関商業に勝って甲子園出場を決めたときの新聞記事などをコピーして提供してくれ、皆さんで当時の古田君の活躍を称えました。





13:40 ころから、各人の近況を発表していただきました。皆さん、ボランティアや趣味の世界でかなり活躍されている様子でした。スポーツでは卓球をやっておられる方が多く、皆さんまだまだ元気だと感じました。中には、農業のベテランもいて、肥料などについて詳しく説明していました。

写真下左に、ビデオカメラを持った長岡君が小さく写っていますが、「古田君の写真は何枚も残っているが、音声が残っていないのが残念なので、今回の試みとして、ビデオカメラを持ってきた」と言っていました。素晴らしい着眼だと思います。



10月12日(日)に唐戸の下関グランドホテルで、関門海峡の絶景を眺めながら、**37 同会総会・懇親会**が行われる旨を紹介しました。先走ってアナウンスするのは下関本部の皆さんに失礼だったかなと思いましたが、その場で約10名の方が参加を表明されていました。





近況報告は席順で行いましたが、たまたま最後になった長岡支部長が、今回はビデオカメラを持参して、声の記録を残したことを紹介し、同期生が少しずつ亡くなっている状況下、このままいけばやがてこの会も消滅してしまうので、なるべく永く続くように、皆さんいつまでも元気で参加して下さいと訴えました(写真右)。



最後に、久田副支部長の乾杯で一次会を締める予定でしたが、集合写真を撮ることばかりを考えていて、失念してしまいました。久田さん、ごめんなさい。

集合写真は、カメラが安物であることと、桂園のママさんの指がフラッシュの上に被っていたこともあってか、あまりよく写っていないので、出席していただいた方に申し訳ないと思います。この写真は368KBですが、自宅のPCには、36.3MBの原画が残っていますので、希望される方には、お送りします。

後列左から、井上(滋)、長岡、武田、池田、倉田、三塩、中村、久田、来島、高木、岡田、前列左から、村川、乗口、小西、増田(満)、吉川、田鍋、新谷です(敬称略)。



○ おわりに

参加してくれた皆さん、ほんとうに有難うございました。お蔭様でたいへん盛り上がりました。次回は二次会の模様をお送りします。

(続く)